

【福井しあわせ元気国体2018】

伊藤あすみ

福井しあわせ元気国体2018に和歌山県代表として出場させていただきました（結果46位／90人中）。

2016年に開催された希望郷いわて国体に続き、2度目の挑戦となりました。

前回、初めて国体に出させていただいたときは、緊張感あふれる独特の雰囲気へのまれ、悔しさが残るレースとなってしまいました。

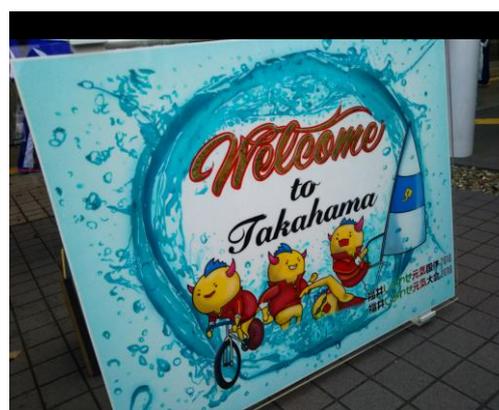
もう一度国体に挑戦したい、そう思って練習に取り組み、たくさんのレースに出て経験を積んできました。予選大会（南紀白浜トライアスロン大会）を経て、今回再び和歌山県代表として挑戦する機会をいただけたときは、大変うれしく思うとともに、本番では2年間の成長を見ていただけるようなレースをしたいと思います。

国体本番に向けての準備期間。たくさんの方々が力を貸してくださいました。

特に、和歌山県トライアスロン連合強化普及委員会のみなさまには、数多くの練習会を企画していただきました。各選手の実力向上だけでなく、和歌山県チームの結束力も強まった素晴らしい機会となりました。



【競技説明会】



【ウエルカムボード】

そして、本番。台風の影響により開催が危ぶまれましたが、スプリントディスタンスに変更し、無事に3種目で実施されました。

スイムは自分に合った泳力の集団の中で泳ぎました。最後の方で集団がペースアップしましたが、なんとか集団後方でスイムアップしました。

バイクでは、後方からの選手と合流したり、前の集団に追いついたり、最終的には大きなパックとなりました。慣れないドラフティングレースで緊張を感じましたが、練習の

おかげで落ち着いて先頭交代に加わることができました。

最後は苦手なランですが、スプリントディスタンスとなり5キロと距離も短いので、必死に身体を動かしました。沿道からはたくさんの応援があり、「和歌山がんばれ！」とパワーをいただきました。

順位は決して良いとはいえませんが、自分の持てる力を出すことのできたレースになりました。

一緒に練習してきた和歌山県の仲間や応援団の方々がいてくれたこと、この2年の間に出了たレースで出場選手の多くと知り合いになれていたこと、前回のいわて国体での経験が生かされたことなどにより、程よい緊張感の中でレースができたのではないかと思います。



【沿道に並んだたくさんの応援】



【和歌山県選手団】

国体は、各選手が都道府県を背負って出場しており、強い思いをビシビシと感じる特別なレースです。現状に満足せず、もっと強い選手になりたいと思わせてくれます。

今回も、実り多く、素晴らしい経験をさせていただきました。

大会を開催して下さった福井県、競技関係者のみなさま、和歌山県トライアスロン連合のみなさま、力強い声援を送って下さった方々、ともに闘った和歌山県の仲間や全国の選手をはじめ、関わって下さったすべての方に心より感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

以上